

英国金融政策（2024年12月）

市場予想通り政策金利を4.75%に据え置き

2024年12月20日

3名が利下げを支持も、金融引き締めの解除は漸進的にとの方針は不変

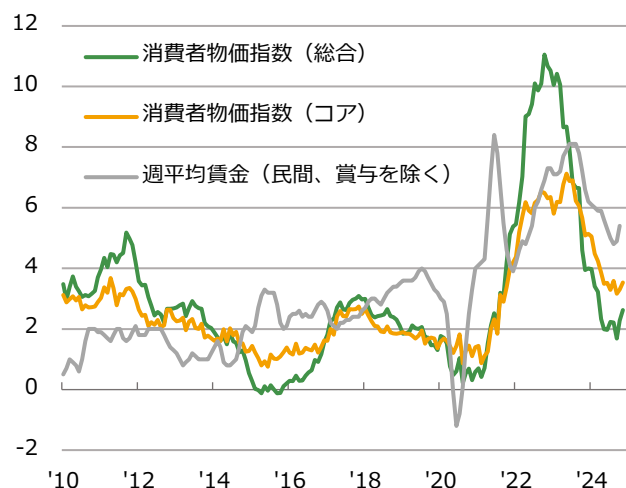
BOE（イングランド銀行）は12月18日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会（MPC）で、政策金利を4.75%に据え置く決定をし、19日に発表しました。BOEは昨年8月の利上げを最後に政策金利を据え置いた後、今年の8月と11月に利下げを実施していました。今回の据え置きは市場予想通りでしたが、6名が据え置きを支持した一方、ラムスデン副総裁を含む3名が利下げを支持したことがサプライズとなり（市場は8対1の票決を予想していた模様）、市場は大幅なボンド安で反応しました。

PMIの低下に見られるように景気は足元で減速しており、BOEは10-12月期の実質GDPの見通しを11月時点の前期比+0.3%から+0.0%へ大幅に下方修正しました。一方で、今週発表された最新の賃金指標は上振れ、消費者物価指数の伸びも加速していたなか、声明文には、「展開している状況証拠は、インフレ圧力を持続させる一段の供給制約とどの程度整合的か、或いは経済に余剰を生じさせインフレを押し下げる需要の弱まりとどの程度整合的かを評価する」と記されました。また、議事録には、予算、国民保険料の引き上げ、地政学的リスク、貿易政策などに起因する不確実性への言及が多々見られました。

それでも、「金融政策は十分に長く引き締めのままである必要」、「金融引き締めの解除へは漸進的な対応が適切」との文言は不変で、「会合毎に決定」との方針ながら、四半期毎に0.25%ptの利下げが引き続きBOEの基本線と考えられます。2025年は2、5、8、11月の利下げを当社は予想しています。

英国の消費者物価指数と週平均賃金

(前年同月比、%) (2010年1月～2024年11月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

※週平均賃金は3カ月移動平均で2024年10月まで

(出所) 英国統計局

英国の金利と為替

(%) (2020年1月初～2024年12月19日) (米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management